

令和6年2月28日

世田谷区立千歳台小学校
校長 寺村 尚彦 様

令和5年度 千歳台小学校関係者評価委員会報告書

船橋希望学舎 世田谷区立千歳台小学校
学校関係者評価委員会 委員長 加藤 久実子

1 活動日程と活動内容

令和5年度における千歳台小学校関係者評価委員会は以下の日程で行いました。

令和5年 5月19日 関係者評価委員会委員長選出 学校経営方針の説明

令和5年 7月13日 千歳台小学校独自項目の設定

令和5年 11月28日より アンケートの実施

令和6年 1月30日 学校関係者評価分析と考察

令和6年 2月28日 千歳台小学校への提言作成

2 アンケート調査の概要

■アンケート調査実施日

児童 令和5年11月28日（火）～12月12日（火）の間に実施

保護者 令和5年11月28日（火）～12月12日（火）回答締め切り

地域 令和5年11月28日（火）～12月11日（月）提出締め切り

■実施・回収の方法

児童・保護者 電子データにて実施・回収

地域 電子データまたは、封筒に入れて郵送にて回収

■アンケート調査対象者

児童 5年生 99名
6年生 115名

保護者 1年生 90名
2年生 104名
3年生 95名
4年生 110名
5年生 99名
6年生 115名

地域 30名

■回収数（回収率）

児童 5年生 73名（74%）
6年生 89名（77%）

保護者 1年生 45名（50%）
2年生 64名（61%）
3年生 44名（53%）
4年生 48名（43%）
5年生 46名（46%）
6年生 50名（43%）

13名（43%）

3 評価報告

学校関係者評価委員会において、令和5年度の学校関係者評価の分析や自己評価の結果をもとに総合的な評価を行いましたので、以下の通り報告いたします。

(1) 学校からの報告

昨年度より、世田谷区では、提出方法が変更され今年度も電子データでの提出となった。昨年は、回収率が大幅に下がった。そこで、今年度は設問数や回答にかかる時間を予め伝えたり、「すぐーる」にて何度か伝えたりした。回答数は半数にまで上昇した。しかし、電子化以前の回収率68%に近づけるよう、さらにアンケートを行う目的や意義などを伝え改善していきたい。又、自由記述に回答された内容を真摯に受け止め、改善できるところから取り組んでいきたい。

【ICT活用】

- ・「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」の項目で、肯定的な評価の保護者は、82%であった。昨年度に比べ、2ポイント増えており、昨年度同様高い割合を占めていた。

毎日タブレットを使用する習慣が付き、授業での意見交流、課題の提出、児童の係活動・連絡の伝達など様々な使い方が広がっている。教員間で活用方法について情報共有をする校内体制を整えている。一方、タブレットの経年劣化による故障が増えてきている。タブレットの長時間使用や使用の仕方については課題があり、保護者の協力を得ながら、解決を図っていく必要がある。

【学校行事】

- ・「学校行事は、子どもにとって楽しい」の項目で、保護者からの肯定的な評価は、96%と高い評価を得ている。また、「学校行事は、子どもにとって達成感がある」の項目も保護者からの肯定的な評価は95%と高い評価を得た。
- ・児童は「学校行事は楽しい」の項目で肯定的な評価が93%、「学校行事は達成感がある」の項目で肯定的な評価が88%であった。

運動会や展覧会、遠足などコロナ以前の活動を取り戻しつつ、今の学校の実態に合わせて、教職員、保護者の協力のもと開催することができた。千歳台小学校では、学校行事を通して、非認知能力の育成を図っている。今後も本校の実態に沿って、子供たちにとって意義のある学校行事の実施をすすめていく。

【キャリア教育】

- ・「子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている」の項目で、保護者の肯定的な評価は、50%であった。

世田谷区では「キャリア・未来デザイン教育」教育施策として重点を置いている。本校でも、キャリアパスポートの活用の指導やキャリア教育に繋がる出前授業を実施し、キャリア教育の充実を図ってきたが、このアンケート項目の評価としては例年肯定的な回答が半数程度に留まっている。キャリア教育がなぜ必要なのか教員が改めて共通理解をして、指導の進め方を見直すと共に、保護者への発信も改善して、充実したキャリア教育の実施を目指していく。

【学び舎の活動】

- ・「学び舎による連携や交流活動が行われている」の項目は、肯定的な評価の保護者は57%と昨年度より8ポイント上がった。
- ・「学び舎についての情報が提供されている」の項目で、肯定的な評価の保護者46%となり昨年度、より5ポイント下がった。
- ・「分からない」と回答した保護者が20%程度あり、他の項目と比べて「分からない」と回答した割合が高かった。

今年度も、あいさつキャンペーン、中学生の職場体験、6年生の中学校見学会、学び舎の日の教員間の情報交換等を行った。交流の場は増えているが、保護者にとっては、自分の子どもの学年によって中学校への関心の高さに違いがあり、情報の受け取り方にも差があることも考えられる。すでに学び舎の活動を学校だよりやホームページなどによって発信しているが、学び舎の良さが活きるよう発信の工夫を検討していく。

【本校独自項目】

- ・「わたし（の子ども）は読書が好きである」の項目では、肯定的な評価の保護者は、53%（昨年56%）・児童63（昨年60%）であった。昨年度に比べると保護者の肯定的な評価は3ポイント下がり、児童は3ポイント上がった。

図書室が新しくリニューアルされ、以前より広くなりじっくり本を手に取りやすくなっている。月に1回土曜日の図書館開放を実施し、本に触れる機会を増やす工夫を行っている。ビブリオバトルや読み聞かせ、調べ学習など読書を推進する活動も引き続き行っていく。学校全体としては、読書月間を設定して読書に対しての意識付けを司書と連携しながら行っている。課題としては、学年が上がるにつれて図書の時間の確保が十分にとれないことがある。多くの子どもたちが読書を積極的に行えるよう他校の実践も参考にしながら読書に対する啓発や指導をすすめていく。

【自由記述について】

自由記述アンケートは、20件の回答があった。本アンケートの目的や回答した内容についての適切な分析と改善を求める声があった。本アンケートの質問項目は世田谷区で決まったものであるということや改善に向けて取り組んでいることや報告書について周知する必要がある。他には、めばえの会の活動に負担感や公平性に疑問視する内容もあった。いただいた意見をめばえの会と共有し改善できるよう助言していく。一方、異学年交流や上級生が下級生を支えているなど本校の児童の良い点も意見としていただいている。課題点は、改善に向けて工夫し、良いところは一層伸ばしていきたい。

（2）学校評価委員会の評価

「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある」の項目では、肯定的な評価の保護者は90%（昨年86%）・児童96%（昨年95%）であった。「本校は、丁寧に指導している」「先生たちは、ていねいに指導してくれる」の項目でも昨年同様肯定的な評価が高い割合を占めている。

本校の児童が、授業の中で自分の考えを伝え合うために、安心して表現できる場や学び合う環境が整ってきていることが分かる。教員の授業や学級づくりが評価に表れていると考える。

教員の真摯な態度が伝わっているものと受け止め、今後も児童の学び合いの様子を教師が丁寧に見取って価値づけることで、児童の自己有用感を高めてもらいたい。

情報発信については、保護者に向けて学校の教育活動を学校公開やホームページ、保護者会などで積極的に発信し、さらに広く伝わるようにしてもらいたい。ホームページは毎日更新し、学校生活の様子が伝わるように校長が日々発信している。特に、学校行事の閲覧数は多くなり、多くの保護者が関心をもってくれていることがわかる。

ICT活用については、肯定的な評価の保護者が増えているが、今後もさらにタブレットの適切な活用を進めていただきたい。

最後に、本校は、安全ボランティアの取り組みが活発に行われている。無理のない範囲で、できる人ができる時に参加するという活動を通して多くの保護者や地域の方が協力してくださっている。こうした取り組みが学校、保護者、地域の連携を一層高めるものとして期待している。また、コロナ禍で中止が続いている学校協議会や学舎合同学校協議会の開催をしていただきたい。学校を取り巻く多くの方に学校の取り組みや活動の様子を共有する場をもち再び地域とのつながりを構築することが必要だと考える。

以上の評価を踏まえ、令和6年度の教育計画を設定し、全教職員が校長のリーダーシップのもと、より一層教育活動が充実していくことを望みます。